

平成31年度 地理歴史科

| | | | | | | | |
|-------|-----------------|----|------|-----|-----|----|-----|
| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 世界史A | 単位数 | 2単位 | 年次 | 2年次 |
| 使用教科書 | 世界史A (東京書籍) | | | | | | |
| 副教材等 | アカデミア世界史 (浜島書店) | | | | | | |

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・世界の歴史という「時間の流れ」の中で、様々な事象に「なぜ」の視点を持つ。
- ・世界と日本のつながりを重視し、歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

2 学習の到達目標

- ・現代社会の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結び付け考察できるようにする。
- ・世界の歴史の流れを、地理的条件や日本史と関連付けながら理解し、国際社会に生きる日本国民としての自覚を養う。
- ・資料を活用し、視覚的・聴覚的に入ってきた知識を活用し、グローバルな思考力を培う。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:資料活用の技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観 点 の 趣 旨 | 近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。 | 現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 | 近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 | 近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。 |
| 評 価 方 法 | ノート・プリント 〔主題学習〕 プリント | 定期考査 ノート・プリント 〔主題学習〕 課題研究レポート 課題研究への取り組み 研究発表の内容 | 定期考査 ノート・プリント 〔主題学習〕 プリント | 定期考査 〔主題学習〕 レポート |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめる。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。 | | | | |

4 学習の活動

| | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|-----|--------------------------|---|---------|---|---|---|--|--------------|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期 | 世界の一体化の始まり・近世から近代欧米世界の発展 | <ul style="list-style-type: none"> 世界の諸文明 アジア諸国の繁栄と衰退 近世ヨーロッパ世界の形成と展開 欧米における近代国民国家の発展 | ○ | ○ | ○ | ○ | <p>a: 世界の諸文明とヨーロッパ世界の拡大、アジアの諸帝国の繁栄と衰退、近代ヨーロッパの新たな社会の成立、ヨーロッパの進出による世界の変貌に対する関心などを高め、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b: 世界の諸文明とヨーロッパ世界の拡大、アジアの諸帝国の繁栄と衰退、近代ヨーロッパの新たな社会の成立、ヨーロッパの進出による世界の変貌とその特質を見いだして、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。</p> <p>d: 世界の諸文明とヨーロッパ世界の拡大、アジアの諸帝国の繁栄と衰退、近代ヨーロッパの新たな社会の成立、ヨーロッパの進出による世界の変貌を理解し、その知識を身に付けている。</p> | 定期考査 プリント |
| | 近代後期の世界・欧米の世界進出 | <ul style="list-style-type: none"> アジア諸地域の動揺 アヘン戦争と列強の中国進出 第二次産業革命 帝国主義の成立 | ○ | ○ | ○ | ○ | <p>a: 近代後期以降の欧米諸国の進出によるアジアの変貌に対する関心高め、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b: 近代後期以降の欧米諸国の進出によってアジア諸国にもたらされた影響や様相を、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 近代後期以降の欧米諸国の進出に伴う諸地域世界の変貌に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d: 近代後期以降の諸地域世界の変貌についての基本的な事柄と欧米諸国の発展を関連付けて理解し、その知識を身に付けている。</p> | 定期考査 プリント |

| | | | | | | | |
|-----|------------------------------|---|---|---|---|---|--------------|
| | 現代の始まりと帝国主義／第一次世界大戦とヴェルサイユ体制 | <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ各国の帝国主義 ・世界分割と列強の対立 ・アジア諸国の改革と民族運動 ・第一次世界大戦とロシア革命 ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制 | ○ | ○ | ○ | <p>a:19世紀末から20世紀初頭にみられた列強の進出やアジアの民族運動、第一次世界大戦の原因や大戦後の体制などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b:19世紀末から20世紀初頭にみられた列強の進出やアジアの民族運動の具体的な様相、第一次世界大戦の原因や大戦後の体制の意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c:第一次世界大戦の原因や展開、大戦後の体制などに関する諸資料を収集し、有用な情報を取捨選択し、図表などにまとめたりしている。</p> <p>d:19世紀末から20世紀初頭という時代の基本的な事柄や、第一次世界大戦の原因や展開を、大戦後の体制の意義などに関連付けて理解し、その知識を身に付けている。</p> | 定期考査 プリント |
| 2学期 | 第一次世界大戦後の欧米とアジア・アフリカの民族運動 | <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦後の欧米諸国 ・アジアの民族運動 (インド・西アジア・東南アジア・中国・朝鮮) ・アフリカの民族運動 | ○ | ○ | ○ | <p>a:第一次世界大戦後にみられた欧米やアジア・アフリカの変化と民族運動の原因や影響などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b:第一次世界大戦後にみられた欧米やアジア・アフリカの変化と民族運動の原因や影響などについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c:第一次世界大戦後にみられた欧米やアジア・アフリカの変化と民族運動などに関する諸資料を収集し、有用な情報を取捨選択し、図表などにまとめたりしている。</p> <p>d:第一次世界大戦後にみられた欧米やアジア・アフリカの変化と民族運動の原因や影響を、世界の各地域などに関連付けて理解し、その知識を身に付けている。</p> | |

| | | | | | | | |
|-----|-----------------------|---|---|---|---|--|-----------------------------|
| 3学期 | 第二次世界大戦／平和と冷戦／現代社会と日本 | <ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌とファシズムの台頭 ・第二次世界大戦 ・冷戦の始まりと多様化する世界 ・冷戦の終焉と現代の世界 | ○ | ○ | ○ | <p>a:第二次世界大戦の原因と結果、その後の諸地域世界について、現在まで続く課題に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b:第二次世界大戦の原因と結果、その後の諸地域世界について、現在の政治・経済の動向と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c:第二次世界大戦の原因と結果、その後の諸地域世界の問題などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d:第二次世界大戦の原因と結果、その後の諸地域世界についての基本的な事柄を、世界の政治・経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。</p> | 定期考査 プリント |
| | 持続可能な社会への展望 | <p>[主題学習]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題の設定 ・資料収集 ・研究発表 ・プレゼンテーション | ○ | ○ | ○ | <p>a:現代の諸課題を、身近なもの、地球環境、地域紛争、情報社会から考えてみる。</p> <p>b:現代の諸課題を、歴史的観点から考察し適切に表現している。</p> <p>c:現代の諸課題を、歴史的観点に基づく必要な情報を収集し図表にまとめたりしている。</p> <p>d:現代の諸課題に関する知識を身に付けている。</p> | レポート プリント 研究発表 の内容 |

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

平成31年度 地理歴史科

| | | | | | | | |
|-------|---|----|------|-----|-----|----|-----|
| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 世界史B | 単位数 | 5単位 | 年次 | 3年次 |
| 使用教科書 | 「詳説世界史」(山川出版社) | | | | | | |
| 副教材等 | 「アカデミア世界史」(浜島書店) 「新世界史要点ノート(応用編)」(啓隆社) | | | | | | |

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

世界史は単に人名や事件名を暗記するだけの科目だと思っている人が多くいます。しかし「なぜそれらが重要な知識であり、覚える必要があるのか」を理解しなければ、それは覚えても全く「意味のない知識」となってしまいます。過去に起こった様々な出来事が「なぜ起こったのか」、「なぜ重要なのか」という「なぜ」を常に考えて歴史から学び、これからの世界を担っていくための生きた「知恵」とすることが肝要なのです。そのためにはただ受動的に授業を聞くだけでなく、常に「なぜ」という視点を持ち、周囲の生徒との対話なども含めてその問いを考える習慣をつけて下さい。

2 学習の到達目標

- ・ 色々な歴史的史料に親しみ、歴史的思考力を培う。
- ・ 現代社会の課題を歴史的観点から考察し、未来へつなぐ。
- ・ 世界の歴史を地理・日本史と関連付けながら理解する。
- ・ 歴史の流れを理解し、広い視野に立って物事を把握できる力を持つ。
- ・ グローバル社会に生きる現代の世界市民として、自覚と責務を果たすように努力する。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:資料活用の技能 | d:知識・理解 |
|-----------------------|--|---|---|---|
| 観 点 の 趣 旨 | 世界の歴史に対する興味・関心を高め、意欲的に追究するとともに、グローバル時代における立ち位置を見定める。 | 現代世界の諸課題を歴史的視点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 | 世界の歴史に関する史料を収集し、情報を選択して読み取りたりまとめたりしている。 | 世界の歴史についての基本的な事柄を地理的視点や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。 |

| | | | | |
|---|------------------------|-----------------------------|-----------------|------------------|
| 評価方法 | ワークノート レポート プリント | 定期考査 ワークノート | 定期考査 ワークノート | 定期考査 |
| | [主題学習] 図説・史料 | [主題学習] レポート 班別・個別研究討議 | [主題学習] 地図・史料 | [主題学習] 内容のまとめ |
| <p>上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p> | | | | |

4 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|-------|-------|--|---------|---|---|---|--|------------------------|
| | | | a | b | c | D | | |
| 一学期前半 | 原始・古代 | <ul style="list-style-type: none"> 先史の世界 オリエントと地中海世界 アジア、アメリカの古代文明 内陸アジア世界、東アジア世界の形成 | ○ | ○ | ○ | ○ | <p>a: 自然環境と歴史、世界の歴史のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、歴史と地理への関心を高めようとしている。</p> <p>b: 原始古代の世界について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 原始古代の世界について、事例の考察に必要な地図・史料を収集、取捨選択し、読み取ったりまとめたりしている。</p> <p>d: 原始古代の世界について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身につけている。</p> <p>また、世界の流れを大まかに把握し、次の時代につなげる。</p> <p>地理、日本史との連携も考える。</p> | 定期考査 レポート ワークノート |

| | | | | | | | |
|-------|-------|--|---|---|---|--|------------------------|
| 一学期後半 | 古代・中世 | <ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム世界の形成と発展 ・ヨーロッパ世界の形成と発展 ・東アジア世界の展開 | ○ | ○ | ○ | <p>a: 自然環境と歴史、世界の歴史のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、歴史と地理への関心を高めようとしている。</p> <p>b: 古代中世の世界について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 古代中世の世界について、事例の考察に必要な地図や史料を収集し、有用な情報を選択して、まとめたりする。</p> <p>d: 古代中世の世界について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身につけている。</p> <p>古代中世を個々ではなく、一つの世界として広く世界を把握する。</p> | 定期考査 レポート ワークノート |
| 一学期前半 | 近世 | <ul style="list-style-type: none"> ・アジア諸地域の繁栄 ・近世ヨーロッパ世界の形成 ・近世ヨーロッパ世界の展開 ・近代ヨーロッパ、アメリカ世界の成立 | ○ | ○ | ○ | <p>a: 自然環境と歴史、世界の歴史のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、歴史と地理への関心を高めようとしている。</p> <p>b: 近世の世界について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 近世の世界について、色々な地図や史料を収集し、読み取ったりまとめたりしている。</p> <p>d: 近世の世界について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身につけている。</p> <p>世界が一体化する時代、世界をつなぎ、広い視野で時代をとらえる。</p> | 定期考査 レポート ワークノート |

| | | | | | | | | |
|-------|-------|---|---|---|---|---|---|------------------------|
| 二学期後半 | 近代・現代 | <ul style="list-style-type: none"> ・二つの世界大戦 ・冷戦と第三世界の独立 | | ○ | ○ | ○ | <p>a: 自然環境と歴史、世界の歴史のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、歴史と地理への関心を高めようとしている。</p> <p>b: 二つの世界大戦について、多面的・多角的に考察し、その原因・経過・結果を適切に表現している。</p> <p>c: 二つの世界大戦について、事例の考察に必要な史料を収集し、取捨選択して、まとめたりしている。</p> <p>d: 二つの世界大戦について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身につけている。 世界大戦はなぜ起こったのか、その流れをつかみ、未来へつなぐ。</p> | 定期考査 レポート ワークノート |
| 三学期 | 現代 | <ul style="list-style-type: none"> ・現代の世界 | ○ | ○ | ○ | <p>a: 自然環境と歴史、世界の歴史のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、歴史と地理への関心を高めようとしている。</p> <p>b: 現代の世界について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 現代の世界について、日本史や地理と連携して、考察に必要な史料を集め、読み取っている。</p> <p>d: 現代の世界について、「現代社会」「政経」と関連づけながら理解し、その知識を身につけている。</p> | ワークノート 研究発表 | |

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度
c: 資料活用の技能

b: 思考・判断・表現
d: 知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

平成31年度 地理歴史科

| | | | | | | | |
|-------|--|----|-----------|-----|-----|----|-----|
| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 世界史B (理系) | 単位数 | 2単位 | 年次 | 3年次 |
| 使用教科書 | 「詳説世界史」 (山川出版社) | | | | | | |
| 副教材等 | 「アカデミア世界史」 (浜島書店) 「新世界史要点ノート (応用編)」 (啓隆社) | | | | | | |

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

世界史は単に人名や事件名を暗記するだけの科目だと思っている人が多くいます。しかし「なぜそれらが重要な知識であり、覚える必要があるのか」を理解しなければ、それは覚えても全く「意味のない知識」となってしまいます。過去に起こった様々な出来事が「なぜ起こったのか」、「なぜ重要なのか」という「なぜ」を常に考えて歴史から学び、これからの世界を担っていくための生きた「知恵」とすることが肝要なのです。そのためにはただ受動的に授業を聞くだけでなく、常に「なぜ」という視点を持ち、周囲の生徒との対話なども含めてその問いを考える習慣をつけて下さい。

2 学習の到達目標

- ・ 色々な歴史的史料に親しみ、歴史的思考力を培う。
- ・ 現代社会の課題を歴史的観点から考察し、未来へつなぐ。
- ・ 世界の歴史を地理・日本史と関連付けながら理解する。
- ・ 歴史の流れを理解し、広い視野に立って物事を把握できる力を持つ。
- ・ グローバル社会に生きる現代の世界市民として、自覚と責務を果たすように努力する。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

| 観点 | a: 関心・意欲・態度 | b: 思考・判断・表現 | c: 資料活用の技能 | d: 知識・理解 |
|-----------------------|--|---|---|---|
| 観 点 の 趣 旨 | 世界の歴史に対する興味・関心を高め、意欲的に追究するとともに、グローバル時代における立ち位置を見定める。 | 現代世界の諸課題を歴史的視点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 | 世界の歴史に関する史料を収集し、情報を選択して読み取りたりまとめたりしている。 | 世界の歴史についての基本的な事柄を地理的視点や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。 |

| | | | | |
|---|------------------------|-----------------------------|-----------------|--------------------------|
| 評価方法 | ワークノート レポート プリント | 定期考査 ワークノート | 定期考査 ワークノート | 定期考査 |
| | [主題学習] 図説・史料 | [主題学習] レポート 班別・個別研究討議 | [主題学習] 地図・史料 | [主題学習] 内容のまとめ レポート |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | | |

4 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|-------|-------|---------|---------|---|---|---|--|------------------------|
| | | | a | b | c | D | | |
| 一学期前半 | 近代・現代 | 第一次世界大戦 | | ○ | ○ | | <p>a: 自然環境と歴史、世界の歴史のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、歴史と地理への関心を高めようとしている。</p> <p>b: 二つの世界大戦について、多面的・多角的に考察し、その原因・経過・結果を適切に表現している。</p> <p>c: 二つの世界大戦について、事例の考察に必要な史料を収集し、取捨選択して、まとめたりしている。</p> <p>d: 二つの世界大戦について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身につけている。</p> <p>世界大戦はなぜ起こったのか、その流れをつかみ、未来へつなぐ。</p> | 定期考査 レポート ワークノート |

| | | | | | | | |
|-------|-------|------------|--|---|---|--|------------------------|
| 一学期後半 | 近代・現代 | 第二次世界大戦 | | ○ | ○ | <p>a: 自然環境と歴史、世界の歴史のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、歴史と地理への関心を高めようとしている。</p> <p>b: 二つの世界大戦について、多面的・多角的に考察し、その原因・経過・結果を適切に表現している。</p> <p>c: 二つの世界大戦について、事例の考察に必要な史料を収集し、取捨選択して、まとめたりしている。</p> <p>d: 二つの世界大戦について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身につけている。</p> <p>世界大戦はなぜ起こったのか、その流れをつかみ、未来へつなぐ。</p> | 定期考査 レポート ワークノート |
| 一学期前半 | 現代 | 冷戦と第三世界の対立 | | ○ | ○ | <p>a: 自然環境と歴史、世界の歴史のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、歴史と地理への関心を高めようとしている。</p> <p>b: 戦後世界について、多面的・多角的に考察し、その原因・経過・結果を適切に表現している。</p> <p>c: 戦後世界二つの世界大戦について、事例の考察に必要な史料を収集し、取捨選択して、まとめたりしている。</p> <p>d: 戦後世界について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら理解し、その知識を身につけている。</p> <p>冷戦はなぜ起こったのか、その流れをつかみ、未来へつなぐ。</p> | 定期考査 レポート ワークノート |

| | | | | | | | | |
|-------|---------------|-------|---|---|---|---|---|------------------------|
| 二学期後半 | 現代 | 現代の世界 | | ○ | ○ | | <p>a: 自然環境と歴史、世界の歴史のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、歴史と地理への関心を高めようとしている。</p> <p>b: 現代の世界について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 現代の世界について、日本史や地理と連携して、考察に必要な史料を集め、読み取っている。</p> <p>d: 現代の世界について、「現代社会」「政経」と関連づけながら理解し、その知識を身につけている。</p> | 定期考査 レポート ワークノート |
| 三学期 | 古代 〜 現代 | まとめ | ○ | ○ | ○ | ○ | <p>a: 自然環境と歴史、世界の歴史のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、歴史と地理への関心を高めようとしている。</p> <p>b: 現代の世界について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 現代の世界について、日本史や地理と連携して、考察に必要な史料を集め、読み取っている。</p> <p>d: 世界史全体を考察し、全体的な知識を地理的分野も踏まえて身につけている。</p> | ワークノート |

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
c: 資料活用の技能 d: 知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

平成31年度 地理歴史科

| | | | | | | | |
|-------|-------------------------------|----|-----|-----|-----|----|-----|
| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 地理A | 単位数 | 2単位 | 年次 | 1年次 |
| 使用教科書 | 高等学校「新地理A」（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院） | | | | | | |
| 副教材等 | 新詳「地理資料」（帝国書院） | | | | | | |

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・地理には「何でそうなるのか」という理由があり、単に用語や地名を覚える（丸暗記する）のではなく、しっかりと理解することが大切である。

・地図や統計図表、写真などを使用して、それらを読みとる能力や理解度を試す出題が入試で中心となっており、覚えることも大切ですが、「理解」することの方がもっと重要である。

2 学習の到達目標

現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | C資料活用の:技能 | d:知識・理解 |
|-------|--|--|--|--|
| 観点の趣旨 | 地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。 | 地理的事象から課題を見だし、我が国及び世界の生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 | 地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 | 我が国及び世界の生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 |
| 評価方法 | 授業観察 | 定期考査 ワークシート 小テスト 発表 | 定期考査 ワークシート 小テスト 発表 | 定期考査 ワークシート 小テスト 発表 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|-----|----------|---|---------|---|---|---|---|--------------------------------|
| | | | A | b | c | d | | |
| 1学期 | 人々の生活と地形 | <ul style="list-style-type: none"> ・世界の大地形と人々の生活 ・山地・平野の地形と人々の生活 ・海岸の地形と人々の生活 ・氷河地形・カルスト地形・乾燥地形と人々の生活 | ○ | ○ | ○ | ○ | <p>a:世界の様々な地形に対する関心と課題意識を高め,それを意欲的に追究し,捉えようとしている。</p> <p>b:それぞれの地形の地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し,その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c:それぞれの地形に関する諸資料を収集し,有用な情報を選択して,読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d:地形に関する基本的な事柄や追究の方法を理解し,その知識を身につけている。</p> | 授業観察 ワークシート 定期考査 小テスト |

| | | | | | | | |
|----------|--|---|---|---|---|---|---|
| 人々の生活と気候 | <ul style="list-style-type: none"> ・生活と気候のかかわり ・熱帯の気候と人々の生活 ・乾燥帯の気候と人々の生活 ・温帯の気候と人々の生活 ・亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活 | ○ | ○ | ○ | ○ | <p>a:それぞれの気候と人々の生活に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>b:地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c:それぞれの気候区の植生・土壌の特徴、分布に関する地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d:それぞれの気候の成り立ちと地域に暮らす人々の生活についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p> | <p>授業観察</p> <p>ワークシート</p> <p>レポート</p> <p>定期考査</p> <p>小テスト</p> |
| 中国の生活・文化 | <ul style="list-style-type: none"> ・中国の自然環境 ・中国の歴史と社会 ・巨大な人口を支える農業と農民 ・急進する工業と資源・環境問題 ・都市の発展と格差の拡大 | ○ | ○ | ○ | ○ | <p>a:関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>b:中国の内陸部と沿岸部、南部と北部を対比しながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c:地図やグラフ、画像などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d:中国の内陸部と沿岸部、南部と北部の対比をふまえながら、基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p> | <p>授業観察</p> <p>ワークシート</p> <p>レポート</p> <p>発表</p> <p>定期考査</p> <p>小テスト</p> |

| | | | | | | | |
|-----|-------------|--|---|---|---|--|--|
| 2学期 | 韓国の生活・文化 | <ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮半島の自然環境 ・韓国の生活・文化と歴史 ・産業の発展と生活の変化 | ○ | ○ | ○ | <p>a: 関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>b: 日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 地図や画像などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d: 基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p> | 授業観察 ワークシート レポート 定期考査 小テスト |
| 2学期 | 東南アジアの生活・文化 | <ul style="list-style-type: none"> ・東南アジアの自然環境 ・東南アジアの歴史と民族 ・東南アジアの農業とその変化 ・東南アジアの工業の発展 ・東南アジアの経済発展と生活の変化 | ○ | ○ | ○ | <p>a: 関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>b: 多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 地図や画像などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d: 東南アジアの基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p> | 授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査 小テスト |
| 2学期 | 南アジアの生活・文化 | <ul style="list-style-type: none"> ・南アジアの自然環境 ・南アジアの歩みとヒンドゥー教 ・南アジアの産業の発展 | ○ | ○ | ○ | <p>a: 関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>b: 多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 地図や統計・画像などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d: 基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p> | 授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査 小テスト |

| | | | | | | | |
|-----|------------------------|--|---|---|---|---|--|
| | 中央アジア・西アジア・北アフリカの生活・文化 | <ul style="list-style-type: none"> ・中央アジア・西アジア・北アフリカの自然環境 ・地域の歴史とムスリムの生活 ・豊かな石油資源と人々の生活 | ○ | | ○ | <p>a: 関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>b: 課題を見出し、地域性と歴史的背景をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 地図や統計・画像などの諸資料に関する収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d: 基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p> | 授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査 小テスト |
| | サハラ以南のアフリカの生活・文化 | <ul style="list-style-type: none"> ・サハラ以南のアフリカの自然環境 ・サハラ以南のアフリカの歴史と文化 ・変わるサハラ以南のアフリカ | ○ | ○ | ○ | <p>a: 関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>b: 多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している</p> <p>c: 地図や統計・画像などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d: 台地状の地形や赤道を境に对称な気候をふまえ、基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p> | 授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査 小テスト |
| 3学期 | ヨーロッパの生活・文化 | <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパの自然環境 ・ヨーロッパの歩みと文化 ・ヨーロッパの統合 ・ヨーロッパの農業と共通農業政策 ・ヨーロッパの工業とその変化 ・EU 拡大による影響と課題 | ○ | ○ | ○ | <p>a: 関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>b: 多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 地図や統計・画像などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d: 気候や地域により異なる地形のようすをふまえ、基本的な</p> | 授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査 小テスト |

| | | | | | | | |
|----------------|---|---|---|---|---|--|--|
| | | | | | | 事柄や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。 | |
| ロシアの生活・文化 | <ul style="list-style-type: none"> ・ロシアとその周辺の自然環境 ・ロシアの歴史と社会の変化 ・ロシアの産業とその変化 | ○ | ○ | ○ | ○ | <p>a: 関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>b: 南北差と東西差に着目して多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 地図や統計・画像などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d: 基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p> | 授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査 小テスト |
| アングロアメリカの生活・文化 | <ul style="list-style-type: none"> ・アングロアメリカの自然環境 ・移民の歴史と多文化社会 ・大規模な農業とアグリビジネス ・アングロアメリカの鉱工業とその変化 ・アングロアメリカの結びつき | ○ | ○ | ○ | ○ | <p>a: 関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>b: 地形や気候の東西差に着目して多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 地図や画像などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d: 基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p> | 授業態度 ワークシート レポート 発表 |

| | | | | | | | |
|------|-------------------|--|---|---|---|---|--|
| 2 学期 | ラテンアメリカの生活・文化 | <ul style="list-style-type: none"> ・ラテンアメリカの自然環境 ・混血社会と多様な文化 ・ラテンアメリカの農業とその変化 ・ラテンアメリカの工業と経済発展 | ○ | ○ | ○ | <p>a: 関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>b: 地域性をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 地図や画像などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d: 基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p> | 授業態度 ワークシート レポート 発表 |
| | オーストラリアの生活・文化 | <ul style="list-style-type: none"> ・オーストラリアとその周辺 の自然環境 ・オーストラリアの結びつき の変化 ・自然を生かした輸出中心の 産業 | ○ | ○ | ○ | <p>a: 関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>b: 多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 地図や画像などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d: 基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p> | 授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査 小テスト |
| | 複雑にからみ合う地球 的課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・地球的課題の特性とその 解決 | ○ | ○ | ○ | <p>a: 複雑にからみ合う地球的課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>b: 直面する地球規模の課題を見出し、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 地球的課題のさまざまな結びつきを表す図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図</p> | 授業観察 ワークシート レポート 発表 |

| | | | | | | | |
|-----|---------------|--|---|---|---|---|--|
| | | | | | | 表などにまとめたりしている。 d: 複雑にからみ合う地球的課題について、その背景にある先進国と発展途上国との経済格差などに着目し、基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。 | |
| 3学期 | 世界の環境問題 | <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな環境問題 ・熱帯林の破壊とその解決 ・地球温暖化の現状と対策 | ○ | ○ | ○ | <p>a: 世界の環境問題に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>b: 世界で起こるさまざまな環境問題の課題を見出し、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 世界のおもな環境問題を表す地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d: 世界で起こるさまざまな環境問題とその解決に向けた取り組みについての基本的な事柄からや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p> | 授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査 小テスト |
| 3学期 | 世界の資源・エネルギー問題 | <ul style="list-style-type: none"> ・限りある資源・エネルギー ・地域で異なるエネルギー問題 | ○ | ○ | ○ | <p>a: 世界の資源・エネルギーの獲得・消費の問題への関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>b: 資源・エネルギーの獲得と消費から課題を見出し、その地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 世界のおもなエネルギー資源の分布と消費量を表す地図や統計・画像などの諸資料を取</p> | 授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査 小テスト |

| | | | | | | | |
|-------------|------------|---|-------------|---|---|---|--|
| | | | | | | 集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:世界の資源・エネルギーをめぐる問題と今後のエネルギー対策のあり方についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。 | |
| 3 学 期 | 世界の都市・居住問題 | <ul style="list-style-type: none"> ・都市への人口集中と諸問題 ○ ・地域で異なる都市・居住問題 ○ | ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> a:都市・居住問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 b: 世界で起こる都市・居住問題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 世界の都市・居住問題とその解決に向けた取り組みについて、基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。 | 授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査 小テスト |
| | | | ○ ○ ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> a:身のまわりにある地図とその特色に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 b:身のまわりにある地図とその特色について、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:身のまわりにある地図を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまと | 授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査 小テスト |

| | | | | | | | | |
|-----|------------|---|---|--|--|---|---|--|
| | | | | | | | めたりしている。 d:身のまわりにある地図の用途に応じた活用や、一般図と主題図の特色の違いについて、基本的な事ながらや追究の方法を理解し、その知識を身につけている。 | |
| 3学期 | 日本の自然環境と防災 | <ul style="list-style-type: none"> ・日本の自然環境 ・地震被害と防災 ・火山災害と防災 ・風水害・雪害と防災 ・災害に備える | ○ | | | ○ | <p>a:日本の自然環境と防災に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。</p> <p>b:日本の自然環境の特徴と、起こりうる災害について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c:日本の地形や気候を表す地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d:日本の自然環境と自然災害についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</p> | 授業観察 ワークシート レポート 発表 定期考査 小テスト |

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
 c:資料活用の技能 d:知識・理解

※・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

平成31年度 地理歴史科

| | | | | | | | |
|-------|----------------------|----|-----|-----|-----|----|-----|
| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 地理B | 単位数 | 2単位 | 年次 | 3年次 |
| 使用教科書 | 新編詳解地理B (二宮書店) | | | | | | |
| 副教材等 | 新編詳解地理Bワークブック (二宮書店) | | | | | | |

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

1年で学習した地理Aを基礎としてより深く学習します。教科書を読んでワークブックに取り組みます。そのあと、単元ごとに問題演習に取り組みます。
地理の学習は単に暗記すればよいのではなく、なぜそうなるのかと考え、理解する力を身につけます。

2 学習の到達目標

- ① 現代世界の地理的事象を系統地理的に考察し、現代世界の地理的認識を養います。
- ② 現代世界の諸地域を、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養います。
- ③ 地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きるための自覚と資質を養います。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:資料活用の技能 | d:知識・理解 |
|-----------------------|--|--|---|---|
| 観 点 の 趣 旨 | 現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意識的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる責任を果たそうとする。 | 現代世界の地理的事象から課題を見だし、地域性を踏まえて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえて公正に判断し、考察の過程や判断した結果を適切に表現する。 | 地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身に付ける。 | 現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 |
| 評 価 方 法 | 授業観察 ワークシート ワークブック | 定期考査 ワークシート ワークブック 小テスト | 定期考査 ワークシート ワークブック 小テスト | 定期考査 ワークシート ワークブック 小テスト ノート提出 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|-----|----------|--|---------|---|---|---|--|-----------------------------------|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期 | 地図と地理的技能 | 第1章地理情報と地図 世界観の変化と地図 地球儀と世界地図 世界情報の地図化 第2章地図と地域調査 地図の活用 身近な地域の調査 | | ○ | ○ | | a: 地理情報の種類ごとに適切な主題図を選択し、地図化する技能を身につけようとしたか。 b: 世界地図の投影法による表現方法の違いと利用について考察し、その有用性について考察したか。 c: 地形図の表現方法を学習し、作業や読み取りを通して、基本的な読図の技術を身につけたか。 d: 世界地図が人々の地理的知識や世界像によって変化してきたことを例に、地図の有用性について理解できたか。 | 定期考査 ワークブック ワークシート ノート提出 |

| | | | | | | | | |
|-----|--------------|---|---|---|---|---|--|--|
| 1学期 | 現代世界の系統地理的考察 | <p>第1章 自然環境</p> <p>1 地形</p> <p>地上には営力により様々な規模の地形あることを大観させる。大地形・小地形それぞれの特徴、分布や形成要因について基礎的知識や概念を習得させ、地形と生活、自然災害との関係を考察させる。地形図の読図技能を習得させる。</p> | ○ | ○ | ○ | ○ | <p>a: 地上には営力により様々な規模の地形あることを認識し、その環境や災害などを通して、地形が人々の生活にどのように影響しているかについて関心と課題意識を高めたか。</p> <p>b: 地殻変動がつくる大地形について、その分布や形成要因、時代による分類をとらえ、火山・地震との関係について考察したか。</p> <p>河川、海岸、その他の特徴的な地形について、形成要因や特徴とともに、人々の生活との関わりについて考察したか。</p> <p>c: 白地図に、プレートや火山、震源の分布などを記入され関連について考察したか。</p> <p>d 世界の気候の空間的な規則性、傾向性、それらの形成要因等を、系統地理的方法で捉える視点や方法を身につけたか。</p> | <p>定期調査</p> <p>ワークブック</p> <p>ワークシート</p> <p>ノート提出</p> |
|-----|--------------|---|---|---|---|---|--|--|

| | | | | | | | |
|--------------|--|---|---|---|---|--|--|
| 現代世界の系統地理的考察 | 2 気候 | ○ | ○ | ○ | ○ | <p>a: 世界の気候について、気候因子と気候要素の関係から、地球規模での分布と特徴について関心と課題認識を高めたか。</p> <p>b: 各気候区の判定基準を理解したうえで、気候地域の分布と特徴についての知識を深めたか。</p> <p>c: それぞれの環境問題について、各種資料で発生の経緯や分布を確認し、現状や今後の対策について考察する技能を身につけたか。</p> <p>d: 世界の気候地域の分布や特徴、人々の生活との関わりについての基礎的・基本的知識や概念を習得できたか。</p> | <p>定期考査</p> <p>ワークブック</p> <p>ワークシート</p> <p>ノート提出</p> <p>小テスト</p> |
| | 3 自然と生活 | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| | 4 環境問題 | ○ | ○ | | ○ | | |
| | 地球規模でみた気温・降水量・大気大循環，海洋や水の循環を取り上げ，それぞれの特色や形成要因を考察・理解させる。長期的におこる気候変動と，異常気象について理解させる。 | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----|--------------|---|---|---|---|---|--|--|
| 2学期 | 現代世界の系統地理的考察 | <p>第2章 資源と産業</p> <p>農林水産業</p> <p>資源・エネルギー</p> <p>工業</p> <p>流通と消費</p> <p>第3章 人口と村落・都市</p> <p>人口</p> <p>村落</p> <p>都市</p> <p>第4章 生活文化と民族・宗教</p> <p>衣食住</p> <p>言語と宗教</p> <p>民族と国家</p> | ○ | ○ | ○ | ○ | <p>a: 世界の交通・通信・貿易・観光等の特徴や発達, グローバル化する変化に関して, 系統地理的に追究する学習に積極的に取り組み, 現代の流通・消費とその課題を捉える視点や方法を身につけようとしたか。</p> <p>b: 工業の種類と立地, 歴史的な変容について, 具体的な事例を通し考察できたか。</p> <p>世界の村落・都市に関する分布や成立要因, 発展過程に着目し, 具体的事例を踏まえながら考察できたか。</p> <p>c: 資源・エネルギーに関する分布図や統計資料を活用し, その特色や変容について分析する技能を身につけたか。</p> <p>現代世界の民族・領土問題について, 世界的視野から系統地理的に捉える視点や方法を身につけたか。</p> <p>d: 村落・都市形態の特徴や変化について具体的な事例を通して考察し, 世界の村落・都市の分布や動向に関する基礎的・基本的な知識や概念を習得できたか。</p> <p>世界の民族・宗教の分布について基礎的・基本的な知識や概念を習得できたか。</p> | <p>定期考査</p> <p>ワークブック</p> <p>ワークシート</p> <p>ノート提出</p> |
|-----|--------------|---|---|---|---|---|--|--|

| | | | | | | | | |
|-----------|------------|--|---|---|---|---|--|-----------------------------------|
| 2学期後半～3学期 | 現代世界の地誌的考察 | 世界の地誌的考察 中国 韓国 東南アジア インド 西アジア・中央アジア アフリカ EU ロシア アメリカ ブラジル オーストラリア | ○ | ○ | ○ | ○ | a: 各地域の自然, 資源・産業, 民族・文化について, 関心を高めたか。 b: 各地域の歴史的背景や, 産業・生活の変化, 資源開発, 世界との結びつきについて考察させるとともに, それぞれの課題について理解できたか。 c: 各地域の自然、農牧業, 鉱工業と貿易についての分布や統計資料から, その地域の特徴と変容を読み取る技能を身につけたか。 d: 各地域の歴史的背景や, 自然、民族, 経済成長について, その特色や課題を理解し, 知識として身につけたか。 | 定期考査 ワークブック ワークシート ノート提出 |
|-----------|------------|--|---|---|---|---|--|-----------------------------------|

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
 c: 資料活用の技能 d: 知識・理解

※ 原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。

平成31年度 地理歴史科

| | | | | | | | |
|-------|---------------------|----|------|-----|-----|----|-----|
| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 日本史B | 単位数 | 2単位 | 年次 | 2年次 |
| 使用教科書 | 詳説「日本史B」 (山川出版社) | | | | | | |
| 副教材等 | 最新日本史図表 二訂版 (第一学習社) | | | | | | |

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・歴史的な視点を身につけ、資料を読み解く感性を磨く。
- ・歴史上の出来事の因果関係を探る。
- ・日本と世界との歴史的交流を学び、現在の日本の国際的立場を考える。

2 学習の到達目標

- ・わが国の歴史的展開を諸資料に基づき、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら考察させ、歴史的思考力を培う。
- ・わが国の伝統と文化への認識を深め、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
- ・現代の諸課題を近現代史と関連づけながら考察する事が出来る。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:資料活用の技能 | d:知識・理解 |
|-----------------------|--|---|--|---|
| 観 点 の 趣 旨 | 近現代史の学習を通して、日本の歴史に対する関心と問題意識を高め、現代の諸課題に対して意欲的に取り組み、国際社会の中で日本国民としての責任を自覚し行動する。 | 現代社会の諸問題を歴史的観点から考察し、客観的・公正に判断して、その結果を自分の主体的意見として適切に表現できる。 | 日本の近現代史の諸資料を目的に応じて収集・取捨選択・読解・加工できる。 | 日本の近現代史についての基本的な事柄や、時代の大まかな流れ、世界史や地理的条件との関連を理解し、その知識を身につけている。 |
| 評 価 方 法 | レポート ワークシート 観察 研究発表(近現代史に登場する歴史的人物や事件等に関する発表) テーマに対する関心度、調査努力等を評価。 | 定期考査 確認テスト レポート ワークシート 観察 研究発表(同左) 史料等の分析力や発表方法の独自性・説得力を評価。 | 定期考査 確認テスト レポート ワークシート 観察 研究発表(同左) 史料選択の妥当性、プレゼンテーション能力等を評価。 | 定期考査 確認テスト |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|-----|---------|---|---------|---|---|---|--|------------------------------|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期 | 近代国家の成立 | <ul style="list-style-type: none"> ・日本近代史へのアプローチ ・開国と幕末の動乱 ・明治維新と富国強兵 ・立憲国家の成立と日清戦争 | ○ | | | | a: 近代国家の始まりと社会・文化の大きな変化に関心を持ち、意欲的に主題に取り組んでいる。 b: 列強のアジア進出が進む中、富国強兵・殖産興業を進めた過程やその結果を適切に判断し、表現することが出来る c: 幕末から日清戦争までの諸資料を収集・選択し、それを読み取ってわかりやすく図表などにまとめている。 d: 幕末から自由民権運動に至る歴史的事柄や、明治政府の近代化政策の結果について、正しい知識を身につけている | ワークシート レポート 定期考査 観察 |

| | | | | | | | | |
|-----|---------|---|---|---|---|---|--|---|
| 2学期 | 近代国家の成立 | <ul style="list-style-type: none"> ・立憲国家の成立と日清戦争 ・日露戦争と国際関係 ・近代産業の発展 ・近代文化の発達 | ○ | ○ | ○ | ○ | <p>a：日清・日露戦争の勝利の結果としての、日本の経済成長や国際的地位の高まりに関心を持ち、意欲的に追求しようとしている。</p> <p>b：日本がなぜ2つの戦争に勝利したかを考察し、近代国家となった日本を論理的に説明できる。</p> <p>c：日本の産業革命や明治の文化の諸資料を収集・選択し、わかりやすく図示することができる。</p> <p>d：当時の国際情勢を正しく理解し、必要な知識を身につけている</p> | <p>ワークシート レポート 定期考査 研究発表 観察</p> |
|-----|---------|---|---|---|---|---|--|---|

| | | | | | | | | |
|-----|-------------|--|---|---|---|---|---|--------------------------------------|
| 2学期 | 二つの世界大戦とアジア | <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦と日本 ・ワシントン体制 ・市民生活の変容と大衆文化 | ○ | ○ | ○ | ○ | <p>a:近代国家の展開と社会・文化の時代的变化に関心を持ち、意欲的に主題に取り組んでいる。</p> <p>b:当事の対外政策の推移や、大戦を国際的視点で考察し、その過程や結果を適切に判断・表現している。</p> <p>c:大戦後の国際社会の変化や恐慌に関係する諸資料を収集・選択し、それを読み取り図表などにまとめている。</p> <p>d:当事の基本的な歴史的事柄や、近代戦の性格と平和の意義について理解し、正しい知識を身につけている。</p> | ワークシート レポート 定期考査 研究発表 観察 |
| 3学期 | 二つの世界大戦とアジア | <ul style="list-style-type: none"> ・恐慌の時代 ・軍部の台頭 ・第二次世界大戦 | ○ | ○ | ○ | ○ | <p>a:第二次大戦の原因・影響と、平和の意義などに対する関心を高め、それらを意欲的に追求しようとしている。</p> <p>b:軍国主義化の原因・過程を多面的に考察し、軍部台頭を論理的に説明できている。</p> <p>c:第二次大戦に関する諸資料を収集・選択し、戦争や平和についての簡単な資料を作成できる。</p> <p>d:国際社会の中で日本が孤立し、戦争へと突き進んでゆく過程を理解し、その知識を身につけている。</p> | ワークシート レポート 定期考査 観察 |

| | | | | | | | | |
|--|-------|---------|---|---|---|---|---|------------------------------|
| | 現代の日本 | ・激動する現代 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:戦後の日本の歴史に関心を持ち、未来に向けてどうあるべきかを考えることができる。 b:国際社会の中での日本の役割について、様々な角度から考えることができる。 c:日本の現代史に関する資料を収集・選択し、図表などに表現することができる。 d:日本の現代史を世界史と絡ませながら正しく理解する。 | ワークシート レポート 定期考査 観察 |
|--|-------|---------|---|---|---|---|---|------------------------------|

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能 d:知識・理解

※原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

平成 31 年度 地理歴史科

| | | | | | | | |
|-------|------------------|----|-------|-----|------|----|------|
| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 日本史 B | 単位数 | 5 単位 | 年次 | 3 年次 |
| 使用教科書 | 「詳説日本史」 (山川出版社) | | | | | | |
| 副教材等 | 図説「日本史通覧」 (帝国書院) | | | | | | |

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・ 歴史という時間軸を感じる。
- ・ 歴史的事象に「なぜ」の視点を持つ。
- ・ 歴史を背景とした世界の国の諸事情を踏まえ、現在の日本の在り方を考える。

2 学習の到達目標

- ・ 諸資料に親しみ、歴史的思考力を培う。
- ・ 現代の諸課題を前近代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点から考察することができる。
- ・ 日本の歴史を地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:資料活用の技能 | d:知識・理解 |
|-----------------------|---|---|--|---|
| 観 点 の 趣 旨 | 前近代史を中心とする日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。 | 現代社会の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 | 日本の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取り、図表などにまとめることができる。 | 前近代史を中心とする日本の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。 |
| 評 価 方 法 | ワークシート レポート 観察 | 定期考査 ワークシート レポート 観察 | 定期考査 ワークシート レポート 観察 | 定期考査 確認テスト |
| | 前近代史に対する関心度、調査努力、発表の態度等を評価 | 資料を分析する力やプレゼンテーション能力等を評価 | 資料に基づいて発表したり、まとめた力等を評価 | 歴史の基本的な用語の意味や流れを身につけているかを評価 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

| 学期 | 名 単元 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---------|-----------|---|---------|---|---|---|---|----------------------|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1 学期 | 歴史へのアプローチ | ・歴史と資料 | ○ | | ○ | ○ | <p>a: 自然環境と歴史、日本の歴史と世界の歴史のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、地理と歴史への関心を高めようとしている。</p> <p>b: 設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d: 設定された主題について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。</p> | 定期考査 ワークシート 観察 |
| | 原始・古代 | <p>・日本文化のあけぼの</p> <p>・律令国家の形成</p> <p>・貴族政治と国風文化</p> | ○ | ○ | | ○ | <p>a: 原始・古代の政治や社会、文化について関心を高め、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b: 大陸文明の影響がいかなる点にあるのかを見出した上で、日本の制度や文化の独自性を多面的・多角的に考察し、その特徴や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 原始・古代における必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d: 原始・古代の政治や社会・文化について、大陸諸文明との交流とも関連づけて理解し、その知識を身に付けている。</p> | 定期考査 ワークシート |
| | 中世 | ・中世社会の成立 | ○ | ○ | ○ | ○ | <p>a: 律令制の崩壊と武士の台頭や武士社会の成長に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b: 院政期から鎌倉時代の社会体制の特質を見だし、経済の発展などに関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c: 院政期から鎌倉時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。</p> <p>d: 院政期から鎌倉時代の政治や社会文化について、武士やその社会の成長の流れを理解し、基本的な知識を身に付けている。</p> | 定期考査 ワークシート |

| | | | | | | | | |
|---------|----|---|---|---|---|---|---|----------------|
| 2 学期 | 中世 | ・武家社会の成長 | ○ | ○ | ○ | ○ | <p>a:室町時代の政治・社会・文化に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b:室町時代の政治・社会・文化をそれぞれ関連づけながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c:室町時代の政治・社会・文化等に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d:室町時代の政治・社会・文化を庶民の成長と関連づけて流れを理解し、基本的な知識を身に付けている。</p> | 定期考査 ワークシート |
| | 近世 | <p>・幕藩体制の確立</p> <p>・幕藩体制の展開</p> <p>・幕藩体制の動揺</p> | ○ | ○ | ○ | ○ | <p>a:安土桃山時代の統一事業から幕藩体制の成立、展開、動揺に至る過程、その間の庶民のさらなる成長や文化の開花についての関心を高め、意欲的に追究しようとしている。</p> <p>b:安土桃山時代から江戸時代までの政治・社会・文化をそれぞれ関連づけながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>c:安土桃山時代から江戸時代までの政治・社会・文化に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>d:安土桃山時代・江戸時代の政治・社会・文化を、武士の支配の確立から動揺、一方で庶民のさらなる成長、さらには対外関係などの変化と関連づけて流れを理解し、基本的な知識を身につけている。</p> | 定期考査 ワークシート |

